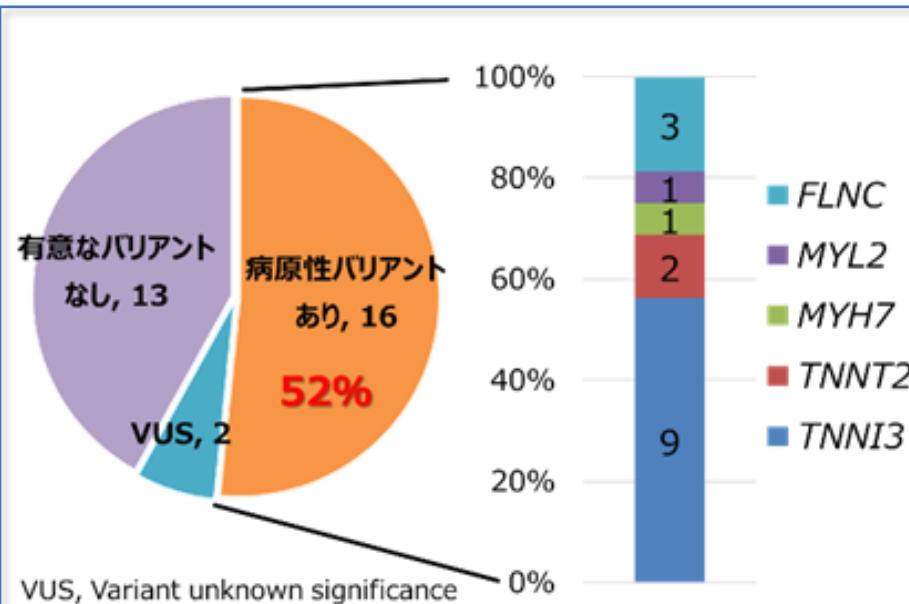
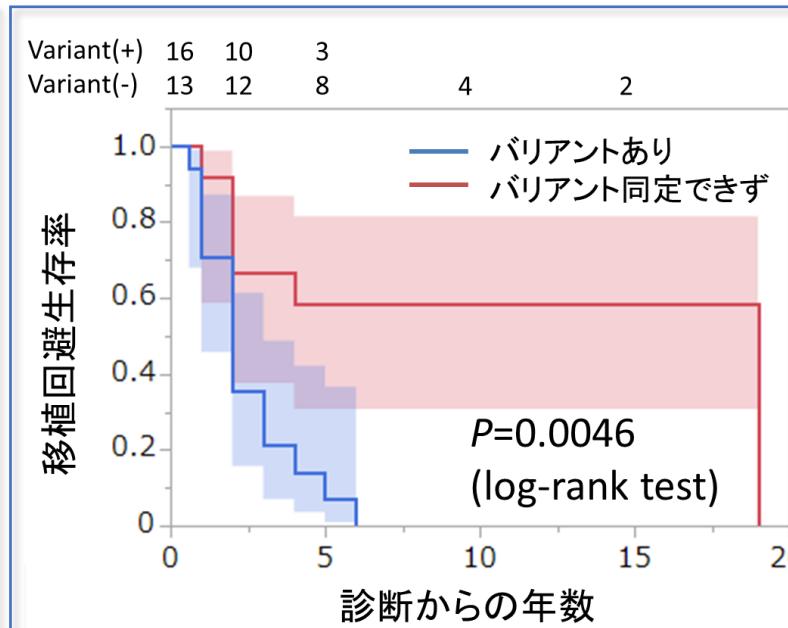


# 遺伝学的背景による小児拘束型心筋症の予後

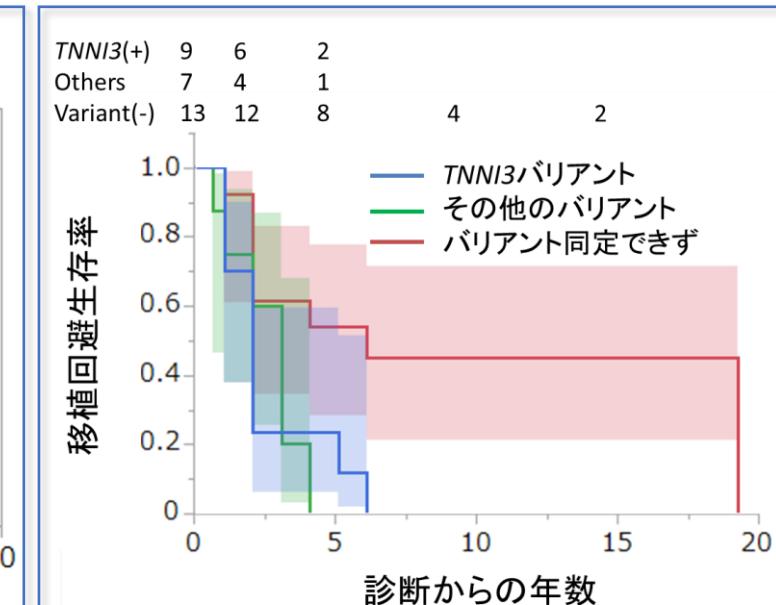
## これまでで最大規模の小児拘束型心筋症 31例に対する遺伝学的解析



日本人ではトロポニンI遺伝子の  
ミスセンスバリアントが多い



病原性バリアント保有者は  
予後不良である



症例が少なく  
変異遺伝子別の予後の差は  
明らかにできなかった

Ishida et al. Circ Genom Precis Med. 2023:e004054.

全国多施設研究によりさらに症例数が増えれば、予後リスク層別化のエビデンスとなりうる